

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	旭川大学情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 旭川大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	情報システム科 ITコース	夜・通信	1,568	160	
	情報システム科 SEコース	夜・通信	1,616	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

来校時に「カリキュラム一覧」にて閲覧公開
----------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	旭川大学情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 旭川大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人旭川大学ホームページにて公開 <a href="https://www.asahikawa-u.ac.jp/au/wp-content/uploads/2022/06/2022board.pdf">https://www.asahikawa-u.ac.jp/au/wp-content/uploads/2022/06/2022board.pdf</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	R3.4.1 ~ R5.3.31	財務・経営全般
非常勤	株式会社役員	R3.4.1 ~ R5.3.31	財務・経営全般
(備考) 学外者である理事は5名（うち2名分記載）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	旭川大学情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 旭川大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。											
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)											
<p>毎年度シラバスを作成する際に、年間授業計画を立てて授業方法や到達目標を定めている。成績評価方法についても、期末試験や検定、課題評価など評価項目をシラバスに記載している。</p> <p>学生に対しては、各授業のオリエンテーション(4月)でシラバスの内容に基づき、授業の進め方や評価方法を確認している。</p>											
授業計画書の公表方法	来校時に「年間授業計画」にて閲覧公開										
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。											
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)											
<p>成績はA, B, C, Dの4段階とし、期末試験や課題、検定結果、授業への意欲などを総合的に判断して数値化し以下の基準に照らし合わせる。</p> <p><b>【評価基準】</b></p> <table> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>80点以上</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>60点以上</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>50点以上</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>50点未満</td> </tr> </tbody> </table>		評価	評点	A	80点以上	B	60点以上	C	50点以上	D	50点未満
評価	評点										
A	80点以上										
B	60点以上										
C	50点以上										
D	50点未満										

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目の評価と以下の計算式により GPA を算出する。  <math display="block">\text{GPA} = (\text{履修科目の授業時間数} \times \text{ポイント}) \text{の合計} / \text{履修した授業の総時間数}</math></p> <p>評価とポイントの関係は次の通り。</p> <p><b>【評価とポイント】</b></p> <table> <tr> <td>評価</td> <td>GP</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0</td> </tr> </table>		評価	GP	A	3	B	2	C	1	D	0
評価	GP										
A	3										
B	2										
C	1										
D	0										
客観的な指標の算出方法の公表方法	来校時に「成績関係」ファイルにて閲覧公開										
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><b>【卒業基準】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成績評価がすべてC以上</li> <li>2. 卒業基準検定の取得</li> <li>3. 2年次において要出席日数から公欠、欠席、遅刻、早退を除いた出席率が80%以上で、かつ、欠席率が10%未満でなければならない。</li> </ol> <p>また、本校で定められた授業料、その他納付金を納入し終えた者</p> <p><b>【卒業認定】</b></p> <p>卒業認定会議で、上記基準に照らし合わせて卒業を認定する。</p>											
卒業の認定に関する方針の公表方法	来校時に「学生の手引き」にて閲覧公開										

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	旭川大学情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 旭川大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.asahikawa-u.ac.jp/about/audata/financial/">https://www.asahikawa-u.ac.jp/about/audata/financial/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.asahikawa-u.ac.jp/about/audata/financial/">https://www.asahikawa-u.ac.jp/about/audata/financial/</a>
財産目録	<a href="https://www.asahikawa-u.ac.jp/about/audata/financial/">https://www.asahikawa-u.ac.jp/about/audata/financial/</a>
事業報告書	<a href="https://www.asahikawa-u.ac.jp/about/audata/financial/">https://www.asahikawa-u.ac.jp/about/audata/financial/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.asahikawa-u.ac.jp/about/audata/financial/">https://www.asahikawa-u.ac.jp/about/audata/financial/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報システム科 ITコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	736 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1072 単位時間 /単位	1808 単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		23人	0人	4人	6人	10人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報システム科 SEコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	904 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	904 単位時間 /単位	1808 単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
(80人) ※情報システム 科ITコースの 内数		39人	0人	(4人) ※情報システム 科ITコースの 内数	(6人) ※情報システ ム科ITコー スの内数	(10人) ※情報シス テム科IT コースの内 数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 到達目標の設定とそれに向けた授業内容を策定し、年度末に総括して改善を図る。
成績評価の基準・方法
（概要） A, B, C, Dの4段階とし、期末試験や課題、検定結果、授業への意欲などを総合的に判断する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 成績評価がすべてC以上、基準検定の取得、出席状況、授業料等が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 授業についていけない学生や、遅刻早退欠席が目立つ学生等、問題を抱えている学生に対し、担任が学生および保護者と個別に面談し、解決方法を模索、指導する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	8人 (30.8%)	12人 (46.1%)	6人 (23.1%)
（主な就職、業界等） ソフトウェア開発、社内システムエンジニア、販売、事務			
（就職指導内容） 学生の希望と能力に応じ就職先を斡旋、履歴書指導、面接指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理国家試験、MOSスペシャリスト、情報活用試験 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62人	3人	4.8%
（中途退学の主な理由） 体調不良3名		
（中退防止・中退者支援のための取組） 本人、保護者と面談により解決策を模索。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報システム科	100,000 円	530,000 円	360,000 円	2022 年度施行
情報システム科	100,000 円	590,000 円	360,000 円	2023 年度以降施行
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
2023 年度より授業料を改定。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 来校時に「自己評価結果資料」にて閲覧公開		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校の自己評価に関する検証を行い、本校の教育理念および教育目標、教育活動、社会との連携、学校運営について調査審議する学校関係者評価委員会を設置する。評価委員会は以下に掲げる2名以上の委員をもって組織する。①情報処理分野に精通した者および高等教育機関の教職員等②産業界の動向に精通した者③本校の所在する地域の関係者で、教育に関し広く高い見識を有する者④その他専門学校に関し、広く高い見識を有する者。 評価項目は①教育活動及び授業数②教員の勤務状況及び組織③学生指導④進路指導(国試・就職)⑤地域社会貢献について審議し、学校長に答申する。この答申を受け、改善すべき内容について次年度活動計画の中に具体的改善策を策定し、学校運営に反映させる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
旭川大学情報ビジネス専門学校同窓会会長	2022年4月1日～2023年3月31日	卒業生
株式会社コンピューター・ビジネス代表取締役	2022年4月1日～2023年3月31日	企業
児童デイサービス管理者	2022年4月1日～2023年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 来校時に「学校関係者評価結果資料」にて閲覧公開		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.bica.ac.jp/">https://www.bica.ac.jp/</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	旭川大学情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 旭川大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		13人	13人	13人
内 訳	第Ⅰ区分	－人	－人	
	第Ⅱ区分	－人	－人	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				13人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人



(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	一人
訓告	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	一人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。